

第366回東三河サイエンスカフェ

2025年12月18日(木)

午後6時30分～7時50分



東三河サイエンスカフェ

検索

<https://kj65kawai.github.io/cs/>

サイエンスカフェは、講演会や体験講座とは違い、ゲストスピーカーやほかの参加者とのフランクな語らいを楽しむ場です。どうぞ、サイエンスについて語らう楽しみを満喫してください。

色揚げ (IROAGE - The Surface Treatment of Kobans -) — 情報A-Z「I」の巻 —

江戸期の小判は、「やまぶき色」と称されるように、黃金色に輝いています。小判は、金貨とされますが、純金ではなく、金と銀の合金です。合金のままの小判は、黄みをおびた白色をしていますが、これに色揚げと呼ばれる表面処理をおこない、黃金色に輝かせているのです。表面に数種類の薬品を塗り、加熱し、水洗いすることで、表層部の銀を取り除き、金だけを残す、という処理です。

今宵は、小判を輝かせる色揚げ処理についてサイエンスしてみましょう。



金魚など観賞魚の体色を鮮やかにするために、餌や環境を調整することも色揚げと呼ばれます。

★ゲストスピーカー：

河合 和久 先生
工博（阪大）

★先生のご専門：

コンピュータ・
サイエンス

★先生からの一言：

大学生の頃、伊丹市に
あった大手総合電機メーカーのIC工場に、学科
主催の就活として、工場
見学にいったことがあります（今では、中等教育
段階の見学内容ですが、
40数年前のことです
ので…）。そこで、ICチッ
プを基盤に接続するボン
ディングの工程を見たの
を、よく覚えています。
接続するワイヤには、金
が用いられていました。

★対象：高校生以上どなたでも。参加費無料。

定員20名。定員に達し次第しめきます。
事前に参加申込をしてください。

★申込：「第366回参加希望」と明記し「氏名」「年齢」「連絡先（メールアドレス）」をお書きの上、下記のメールアドレスあてお申込みください。

東三河サイエンスカフェ事務局

メール：kawai@tut.jp

申込み切：12月17日（水）正午

★ご連絡いただいた
個人情報は、申込受
付等の連絡業務にのみ
使用します。

オンラインのみ
での実施です。

★オンライン（Google
Meet 使用）：URL等詳
細は、申込者あて別途連絡
します。